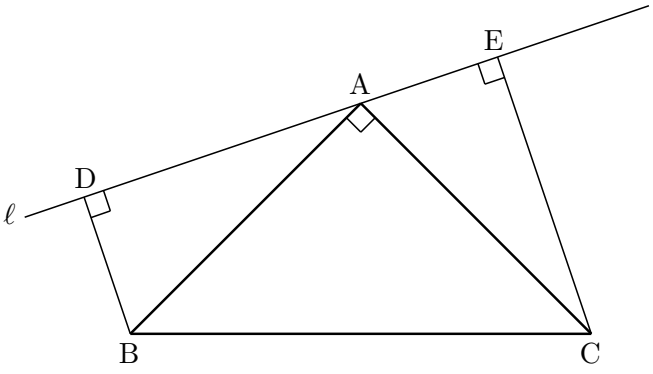
2.5.7　元気話．定番だけど…

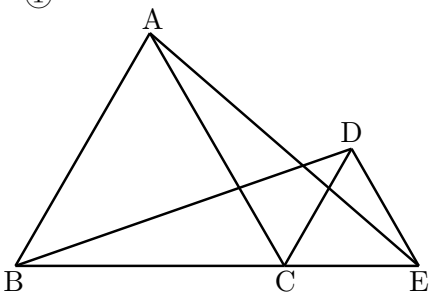
2 年生を指導しているとギャングエイジのせいか，あんまり勉強してくれませんね。淡々と授業進めているとこちらの元気がなくなってしまう場合があります。ましてや塾で扱った問題を主問題にすると，一度やったことがある生徒の意欲は当然減少しますよね。教科書通りに指導してもいいですが少し疲れて生徒の元気を吸収したいと思ったとき，以下の問題はどうでしょうか。成績上位の生徒もかなり苦しむと思いますが…。生徒が悩んでいる姿は教員をきっと元気にしてくれるはずです。

問. $\angle A = 90^\circ$ である直角二等辺三角形 ABC において，頂点 A を通る直線 ℓ に頂点 B , C から垂線を引き，交点を D , E とするとき，AD = CE を証明しなさい。

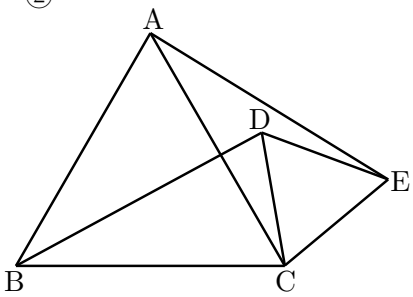


以下の問題も定番ですね。正三角形 ABC と正三角形 DCE において AE = BD を証明する問題です。生徒の実態に応じて①〜③を使い分けて出題するといいと思います。

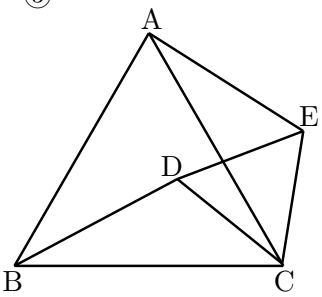
①



②



③



直角二等辺三角形の問題は直角三角形の合同条件を指導した後，正三角形の問題は三角形の合同条件を指導した後ならば問題として成立します。ただし，直角三角形は作図しながら出題可能ですが，正三角形は基準線 (底の線) をしっかり決めてから正三角形を作図させないともめる元になります。(自分はプリントが嫌いなので…)